

八戸っ子だより

だるま販売

日之影町立八戸小学校
令和 2年 2月14日
第12号 文責 二宮 聡



2月9日（日）に八戸観音祭りが行われ、これに合わせ、だるま販売をしました。この日は、地域の方をはじめ、町内外から、だるまを買い求めに来られました。その中には、これまでに八戸小に勤務された先生方もおられ、とてもありがたいことだと思いました。

地域の皆様、長年にわたり八戸小のだるまづくりをご支援くださり、また、だるまを大切にしてください、誠にありがとうございました。

吉弘哲章校長先生(元八戸小教頭)
八戸小での3年間、毎年、この日がとても楽しみでした。子ども達・保護者・地域の方にお会いでき、嬉しかったです。だるまは、いつまでも大切にします。

〈けん玉王子より〉



【だるま販売の様子】



ありがとう集会

2月7日（金）に「ありがとう集会」を行いました。この集会は、日頃より、子ども達がお世話になっている地域の方に、感謝の気持ちをお伝えするものです。招待したい方は、子ども達の意見をもとに決めました。子ども達は、集会でお礼の言葉やプレゼントを贈ったり、歌を歌ったり、給食を一緒に食べたりして、お世話になった方との交流を深めました。

子ども達がお世話になりながら、ありがとう集会にお招きしていない方が多くおられます。どうぞ失礼をお許しください。この紙面ではございますが、お礼を申し上げます。



【ありがとう集会の様子】

教育懇話会

2月4日（火）に、本校で教育懇話会が行われ、地域代表の方をはじめ10名の方が来校されました。この会は、学校における子ども達の教育活動への取組について、学校・地域・町教育委員会が意見を交換するものです。今回が第2回（第1回は7月に実施）となり、授業参観やアンケート結果（子ども達・保護者・教員）をもとに、活発な話し合いがなされました。子ども達の成長を実感していただけた会でした。



【授業参観の様子】

意見発表

2月9日（日）の「町民のつどい」で、6年生の甲斐真優さんが意見発表をしました。真優さんは、学校統合後の「地域とのつながり」をテーマに、自分ができることを具体的に考え、引き続き地域とのつながりを大切にしていきたいと、考えを述べました。つどいに参加された方々からは、温かい拍手が送られました。



【意見発表をする甲斐真優さん】

【要旨】 「つながりをもち続けて」

八戸小では地域とつながる活動がありますが、学校が閉校することで、地域とのつながりが少なくなるのではないかと心配になりました。そこで、閉校後、どうすればよいかを考えました。一つは、地域の行事に進んで参加することです。八戸下のプール掃除や公園の掃除等に参加することで、地域の方と交流できます。また、八戸地区夏祭りでは、親や地域の方に助けていただきながら、できることをしたり、祭りの準備を手伝ったりするとよいと思います。もう一つは、地域の方と積極的に話すことです。私たちと楽しく話をするのが地域の方を元気にするのだと思います。八戸小で過ごした6年間を誇りに、地域の方とのつながりを大切に、中学校生活を楽しみたいです。



【体育の授業で体幹を鍛える子ども達】

体力づくり優良校

本校が「県体力づくり優良校」として表彰を受けました。平成30年度と令和元年度（ともに4月実施）の新体力テストの結果比較において、著しい伸びが見られたこと、また、体育の授業以外にも、体力づくり等に取り組んでいることが、表彰の理由です。この表彰も、子ども達の自信につながります。